

日頃からのご支援とご指導に心より感謝申し上げます。

今年の夏は、千葉県や北陸地方など、全国各地において、線状降水帯の発生に伴う豪雨により、河川の氾濫や道路冠水、土砂災害などの大きな被害が生じました。本市においては、観測史上初めて茨城県に上陸した台風の影響により、人的被害はなかったものの、倒木や停電の発生のほか、公共施設等に多くの被害が生じました。

災害が頻発化・激甚化する中であっても、安全に、そして安心して暮らすことができるよう、災害に強いまちづくりを進めてまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

白石 敦



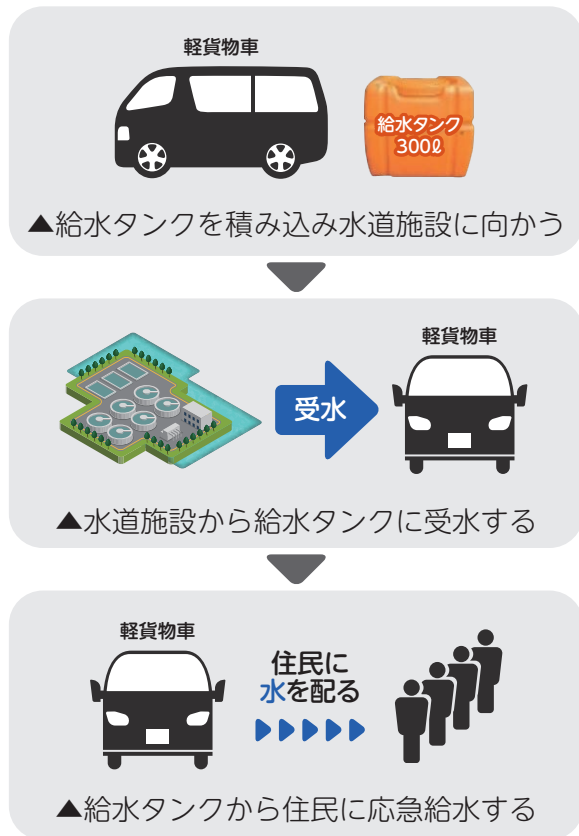
ニュース

応急給水体制を拡充します

市は、大規模断水の際、給水車による組み立て式タンクへの給水と民間事業者の井戸の使用に関する協定により、市内30箇所では応急給水が可能な体制を整えていますが、12の山側住宅団地に対して、軽貨物車等に搭載できる給水タンクによる応急給水体制の拡充を進めています。



【給水タンクによる応急給水の流れ】



定例会報告

令和8年 第3回定例会開催

令和8年第3回（9月）定例会が、9月3日から30日まで開催されました。

令和8年度 一般会計補正予算が可決されました。

一般会計予算が4億7,920万円追加補正されました。主な事業は以下の通りです。

■ 新交通導入事業・・・（1億3,440万円）



◆大甕駅周辺の一般道とBRT区間において、自動運転車両のデータ分析や有効性の検証

■ 施設整備事業・・・（6,330万円）



◆台風により被害を受けた宮田小学校の校舎屋上の防水改修工事

■ 子育て世帯応援給付金支給・・・（3,170万円）



◆未就学児がいる子育て世帯に対して、未就学児一人あたり6千円を支給

■ 無痛分娩費用助成事業・・・（1,000万円）



◆令和8年4月以降に無痛分娩により出産した市民に対して、上限10万円を助成

■ 共創プロジェクト推進事業・・・（720万円）



◆電動キックボード等での次世代モビリティ運用の実証実験により、利用者の移動分析等を実施

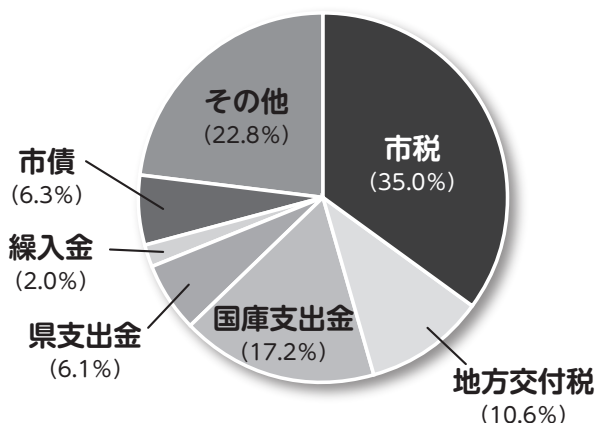
■ その他・・・（2億3,260万円）

- ◆国・県支出金返還金
- ◆医療機関等物価高騰対策事業 他

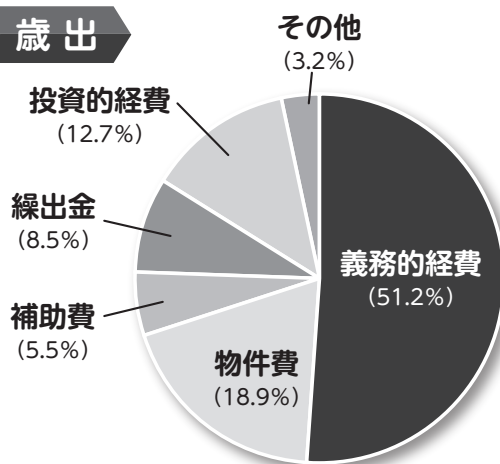
令和7年度の決算が認定されました

令和7年度の一般会計は、歳入が836億5,750万円（前年度比2.8%減）、歳出が799億5,147万円（前年度比2.6%減）となりました。主な要因として、歳入では法人市民税や地方特例交付金の減少、歳出では災害復旧事業費や財政調整基金への積み立ての減少が挙げられます。

歳入



歳出



～決算審査特別委員会から市への要望～

- アンダーパス等における道路冠水対策の強化
- 吉田正音楽記念館の若い世代の利用促進と有効活用
- 小児オンライン医療サービスの利用拡大と利便性向上
- 総合戦略の成果を踏まえた効果検証
- 災害危険箇所ウェブカメラの機能強化

用語の解説

義務的経費とは…人件費＋扶助費（高齢者や障がい者などの生活支援）＋公債費（市の借金の返済）

投資的経費とは…普通建設事業費（道路や学校などの建設）＋災害復旧事業費

会派「民主クラブ」の一般質問について

9月7日と8日に行われた一般質問の一部を抜粋して紹介します。

1. 就労支援施設への支援拡充 ～自主製品の販路拡大について～

【質問】就労支援施設の自主製品は、市役所多目的ホール内のカフェのほか、産業祭などのイベント等で販売しているが、就労支援施設で働く障がい者の工賃向上を図るため、日立駅前大型商業施設内に常設ショップの開設と委託販売支援を進めるべきではないか。

【保健福祉部長】就労支援施設の自主製品の販売は、各施設で対応しているが、常設ショップを開設した場合は、商品の搬入や補充に加え、売上金の管理など、各施設に新たな負担が生じるため、市が支援して負担軽減を図り、常設の販売環境を整えることが、障がい者の工賃向上につながるものと考えられる。今後、先行事例の調査や就労支援施設等と協議しながら検討を進めたい。

2. 行政経営改革における成果の見える化について

【質問】市は、「日立市行政経営改革プラン」に基づき、行政手続きのデジタル化や効率化などの行政経営改革を進めているが、この改革は、市民の理解と協力が不可欠であるため、取り組み内容や成果を市民と共有する上で見える化が必要である。今後の進め方について見解を伺いたい。

【総務部長】行政経営改革を進める上では、本市の状況や課題のほか、改革の必要性や方向性などを市民と共有する必要があるため、改革の進捗状況等を市ホームページなどで公表するが、グラフや表などを用いて、現状や変化を分かりやすく見える化する「ダッシュボード」の活用を含め、効果的な情報発信を検討していきたい。行政経営改革は、市役所内部だけの取り組みとするのではなく、進捗や成果を市民と共有しながら、より質の高い市民サービスの実現につなげていきたい。

トピックス

血圧を測って、健康づくりに役立てましょう

日立市と日立製作所による共創プロジェクトの一環として、市民約7万人分の匿名健康データを分析した結果、高血圧予防対策を重点的に実施する必要性が高いことが分かりました。高血圧予防には、日頃から血圧を測って記録し、自身の健康状態を「見える化」することが重要です。そのため、市は、市内の商業施設や公共施設に血圧計を設置しましたので、お気軽にご利用ください。



▲血圧計

設置場所：ヨークベニマル、サンユーストアー、マルト、TAIRAYA 金沢店、ベイシアフーズパーク日立店、シーマークスクエア、道の駅日立おさかなセンター、ヒタチエ、久慈サンピア日立、各交流センター、池の川さくらアリーナ、保健センター、日立市役所本庁舎



11月15日（日）ひたちシーサイドマラソンが開催されます

ひたちシーサイドマラソン2026の開催に伴い、一部交通規制があります。交通規制箇所の詳しい時間などは、大会ホームページをご確認ください。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



トピックス

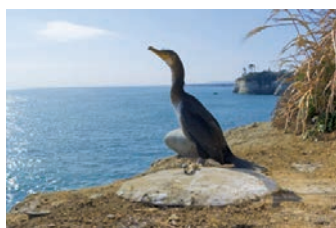
全国で唯一のウミウの捕獲について

ウミウは、岐阜県の長良川をはじめとする全国で行われている鵜飼で用いられる鳥として知られています。ウミウは、春に繁殖のために北へと向かい、秋に越冬のために南へと向かう渡り鳥で、その途中の伊師浜海岸の断崖絶壁は、格好の休憩地点になっています。

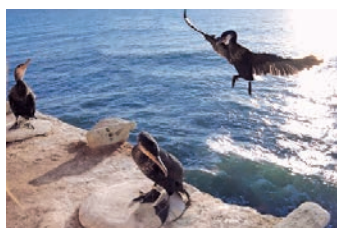
ウミウの捕獲は、その伊師浜海岸の断崖絶壁、高さ約15mのところに設けられた鳥屋^{とや}の中で行われています。捕獲したウミウは、全国の鵜飼地へ供給されますが、日立市は、全国で唯一のウミウの供給地であり、捕獲技術は、市の無形民俗文化財に指定されています。

このウミウの捕獲場は、7月～9月と1月～3月に無料で一般公開しています。

【ウミウの捕獲の流れ】



▲おとりのウミウを配置



▲ウミウの飛来



▲鳥屋の中から捕獲



▲全国の鵜飼地へ供給

活動報告

7月

・ぶら・スポフェスタ

・ヒタチタガ

サマーイルミネーション

- ・日立港まつり
- ・春の叙勲・国家褒章受章者
記念品贈呈式

8月

- ・ひたち河原子花火大会
- ・8.15平和集会および平和行進
- ・日立あんどんまつり
- ・大みか地区夏祭り

9月

- ・日立市議会 第3回定例会
(9月3日～9月30日)
- ・日立市美術展
- ・日立市内高校サッカー部
OB交流戦
- ・市民生活安全フェス

●ぶら・スポフェスタ

今回は、7月1日にリニューアルオープンした日立市池の川さくらスタジアム（市民運動公園野球場）をメイン会場に開催されました。

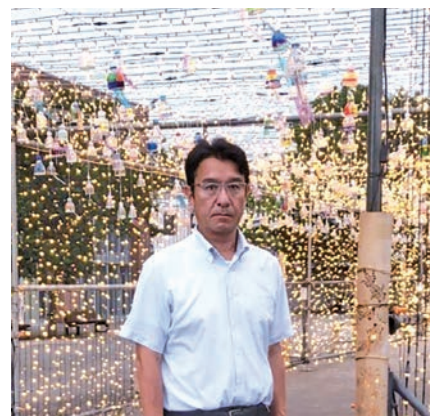
新しくなった野球場では、子どもから大人まで多くの方がスポーツやレクリエーションを楽しみました。



●ヒタチタガ

サマーイルミネーション

多賀市民会館の開館20周年記念事業の一環として開催されました。期間中には、山形県山辺町（国内友好都市）の方が講師となって、竹筒に穴をあけて模様を付け、中から明かりを灯す「竹あかりをつくろう！」のワークショップも盛況に開催されました。



奥日立きららの里の入場料の無料期間を延長します

令和9年3月31日（水）まで入場料が無料です。様々なイベント等を実施しますので、是非ともこの機会に気軽にお立ち寄りください。

